

令和4年度授業改善推進プラン 音楽科

		観点別	
学年	知識・技能	思考・判断・表現	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりできるようにする。 ・ 自分の歌声や発音に気を付けて歌えるようにする。 ・ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌えるようにする。 ・ 器楽では、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏できるようにする。 ・ 音色に気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現では、児童がもった思いを基に実際に演奏して確かめる過程を多く取り入れる。 また、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを感じ取れるようにする。 ・ 鑑賞では、旋律を口ずさんだり、音楽に合わせて体を動かしながら、曲や演奏の楽しさを見いだせるようにする。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりできるようにする。 ・ 自分の歌声や発音に気を付けて歌えるようにする。 ・ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌えるようにする。 ・ 器楽では、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏できるようにする。 ・ 音色に気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現では、児童がもった思いを基に実際に演奏して確かめる過程を多く取り入れる。 また、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを感じ取れるようにする。 ・ 鑑賞では、旋律を口ずさんだり、音楽に合わせて体を動かしながら、曲や演奏の楽しさを見いだせるようにする。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ・ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌えるようにする。 ・ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・ 互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現では、曲の特徴についての理解を深め、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを認め合う体験を積み重ねる。 ・ 鑑賞では、曲のもつよさや、様々な演奏形態や演奏者などによる演奏のよさなどについて考えをもてるようにする。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ・ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌えるようにする。 ・ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・ 互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現では、思いや意図を言葉や音楽で伝え合うことと、実際に演奏してみることとを繰り返しながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫できるようにする。 また、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを認め合う体験を積み重ねる。 ・ 鑑賞では、曲のもつよさや、様々な演奏形態や演奏者などによる演奏のよさなどについて考えをもてるようにする。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱・範奏を聴いたり、ハ長調・イ短調の楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ・ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌えるようにする。 ・ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・ 各声部の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現では、曲の特徴についての理解を深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら、様々な表現方法を試すなどして、表現を工夫する楽しさを味わい、思いや意図を膨らませるようにする。 また、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを認め合う体験を積み重ねる。 ・ 鑑賞では、音楽的な根拠に基づいて、曲がもつよさや、様々な演奏形態や演奏者などに 	

<p>6 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱・範奏を聴いたり、ハ長調・イ短調の楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌えるようにする。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 ・各声部の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現では、曲の特徴についての理解を深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら、様々な表現方法を試すなどして、表現を工夫する楽しさを味わい、思いや意図を膨らませるようにする。また、児童同士で工夫した表現を互いに聴き合い、それぞれの表現のよさを認め合う体験を積み重ねる。 ・鑑賞では、音楽的な根拠に基づいて、曲がもつよさや、様々な演奏形態や演奏者などによる演奏のよさなどについて考えをもてるよ
----------------	--	--

主体的に取り組む態度

- ・友達と音楽表現をしたり、音楽を味わって聴いたりする楽しさを感じられるようにする。
- ・我が国や諸外国の様々な音楽に出会い、それらの音楽に親しめるようにする。
- ・生活の中にある様々な音や音楽に関心をもつようにし、生活の中で音楽に親しんでいく態度を育てる。

- ・友達と音楽表現をしたり、音楽を味わって聴いたりする楽しさを味わえるようにする。
- ・我が国や諸外国の様々な音楽に出会い、それらの音楽に親しめるようにする。
- ・生活の中にある様々な音や音楽に関心をもつようにし、生活の中で音楽に親しんでいく態度を育てる。

- ・友達と音楽表現をしたり、音楽を味わって聴いたりする楽しさを味わえるようにする。
- ・我が国や諸外国の様々な音楽に出会い、それらの音楽に親しめるようにする。
- ・生活の中にある様々な音や音楽に関心をもつようにし、生活の中で音楽に親しんでいく態度を育てる。